



細めの移植ごてなどを使い、毎作、しっかりと天地返しする。少し粗めの水はけの良い土にする。太陽光に当てて、十分、消毒を。鉢の中でも良いが、トレーなどに出して念入りにかき混ぜるとなお良い。



しっかり観察して、害虫類を取り除く。



スイカ



ウリ科

ヒマワリ

つまり  
輪作

ペチュニア



ナス科

パンジー



スミレ科

種類を変えて輪作する。  
たとえば、ウリ科→キク科→スミレ科→ナス科など。



プレゼント



古い土に混ぜるだけで再生。硬くなつた土がふかふかになり、微生物を活性化させて根を育む「エコガーデンバンブーパウダー」。主原料の竹は間伐材を再利用。5kg・714円を10人に。

31歳の応募要領で「8月号ガーデニング」係へ。8月末日必着。

商品提供=ハイポネックス ジャパン 06-6452-4187



## 【土のリサイクル】

お百姓さんにとって田んぼや畠の土は、先祖代々引き継いできた宝物。コンテナガーデナーもそれを見習って、土やポットをリサイクルして使い続けたいものです。環境を大切にするエコな時代のテクニックとは…。



良い土を使えば、バラも生き生きと

栽培した土は固く締まって、水の道と呼ばれる水の通り道が出来ています。上手にリサイクルするためには、土の中の水、空気、土のバランスを整え、病原菌や害虫を取り除くことが大切。「コツは—」。

### ①鉢土を耕す

新鮮な空気をたっぷり含ますと土は生き返る。鉢の中の土をしっかりかき混ぜるだけでもOK。

### ②太陽光や熱で消毒する

1週間程直射日光に当て、土をリフレッシュする。最適時期は夏。少し土を湿らせ透明ビニールで覆うと、土温度を上げて熱消毒が出来、更に万全。

### ③害虫を退治する

コガネムシの幼虫、ダンゴムシ、

### ⑤かたまりを大切に

良い土は

团粒構造と呼ばれる細かな团粒で出来ている。根に大切な空気や水、養分は、团粒構造の土のすき間に貯蔵される。

丁寧に混ぜ返し、土を完全に粉々にしないこと。細かくなつた時は、ピートモスや熟した腐葉土を土の1~2割加える

### ④同じ種類の植物を続ける

同じ科の植物を続けて植えると、特定の成分だけが早く欠乏したり、同じ病気がはびこつたりする。出来るだけ種類を変えて輪作する

ナメクジなどは、コンテナ栽培にとって致命的。①②の作業中に注意深く取り除く